

(様式 1-3)

山武市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 26 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	6	事業名	津波避難経路外灯等整備事業	事業番号	◆A-2-1-2
交付団体	山武市	事業実施主体 (直接/間接)	山武市 (直接)		
総交付対象事業費	8,439 (千円)	全体事業費	8,439 (千円)		
事業概要					
<p>小中学校避難用外階段を有効に活用するために必要な整備を行い、津波からの緊急避難体制を強化することにより、近隣住民の安全確保を図る。</p> <p>○緑海小学校</p> <p>現在、津波避難用外階段までの避難経路上には段差や植込みがあるうえ、大規模災害発生時には停電が予想される。明かりが全くない状況の中で、大勢の近隣住民を迅速かつ安全に避難させるため、ソーラータイプの外灯整備及び避難経路の整地を行い、夜間避難時における安全確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・ソーラー照明の設置 (外灯タイプ 4 箇所、通路灯 1 箇所)・段差解消による避難経路の確保 (アスファルト舗装 32 m²) <p>○蓮沼中学校</p> <p>上記施設同様に停電時は、明かりが一切ない状況となる。また、避難用外階段本体は隣接する大通りからは確認しにくい場所にある。災害発生時、大勢の近隣住民を迅速かつ安全に避難させるため、学校敷地内の外灯をソーラータイプに更新し、避難経路をわかりやすくすることで、夜間避難時における安全確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・ソーラー照明の設置 (外灯タイプ 3 箇所) <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
○津波避難経路外灯等整備事業： 8,439 千円					
<平成 26 年度>					
		実施設計業務委託 (蓮沼中学校・緑海小学校)	496 千円		
		監理業務委託 (蓮沼中学校・緑海小学校)	299 千円		
		蓮沼中学校津波避難経路外灯等設置工事	2,695 千円		
		緑海小学校津波避難経路外灯等設置工事	4,949 千円		

東日本大震災の被害との関係

海岸線から直線距離で約 8km に渡って平野部が広がる本市では、今回の東日本大震災において多くの津波被害が発生した。発災直後の大津波警報発令により市長が避難指示を発令。海岸地域の 11 箇所の避難所には 2,000 人を超える市民が避難した。

特に蓮沼中学校は海岸からの距離が 1.5 km、緑海小学校は 1.8 km に位置し、海岸部における防災拠点として、蓮沼中学校に 100 名（隣接の蓮沼スポーツプラザ(2F 建)には、800 名)、緑海小学校には 300 名が避難した。

このことから両校（RC 造 3 F 建）に設置する外階段を活用し、津波からの緊急避難体制の強化を図る。

※区域の被害状況の概要

- 建物被害棟数が 1,201 棟（全壊 48 棟、大規模半壊 182 棟、半壊 377 棟、床下浸水 275 棟、その他 319 棟）
- 浸水面積 9.4k m²（千葉県内で最大規模）、最大陸地到達距離は 2,960m（松尾町折戸地先）
- 震災当時の避難所は 13 箇所を開設、累計避難者数 3,995 人（内福祉避難所 246 人）最大避難者数 2,149 人（3 月 11 日 20:00 現在）
- 市が実施した被災者アンケートでは、災害時に特に危険と思われることとして「海岸線の後背地が平坦であること」607 人（65.3%）、「安全な避難場所が少ないこと」287 人（30.9%）という結果が出ている。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	A-2-1
事業名	小中学校避難用外階段設置事業
交付団体	山武市

基幹事業との関連性

○緑海小学校

・現在、学校敷地内には外灯が全くない状況である。学校敷地内の避難経路へソーラータイプの外灯等を整備することにより、避難用外階段への夜間避難時における安全性を確保する。

○蓮沼中学校

・現在、学校敷地内には外灯が整備されているが、停電時には使用できなくなるため、夜間は明かりが全くない状態となる。既存の外灯をソーラータイプへ更新することにより、避難用外階段への夜間避難時における安全性を確保する。